

第8章

非メタン炭化水素

1 非メタン炭化水素測定局の現況

令和4年度末現在、一般局で全国253市町村に348測定局、自排局で全国103市町村に134測定局が設置されている。測定局数の推移は、表8-1-1のとおりである。

また、令和4年度末現在の都道府県別の測定局設置市町村数及び測定局数は、表8-1-2のとおりである。

表8-1-1 非メタン炭化水素測定局設置市町村数及び測定局数

局区分	項目	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3
一般局	市町村数	30	50	98	120	162	174	189	200	207	219	228	230	233	235	238	239
	測定局数	39	65	127	168	219	247	271	294	306	322	331	332	335	338	338	340
自排局	市町村数	7	14	36	53	68	73	81	82	91	90	94	94	98	102	102	103
	測定局数	10	20	46	71	98	110	125	127	141	140	145	150	150	155	155	162

局区分	項目	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
一般局	市町村数	244	248	252	256	261	257	263	262	256	253	249	229	225	221	219	220
	測定局数	348	354	358	363	367	359	362	361	351	348	344	322	319	319	316	319
自排局	市町村数	113	109	116	119	120	121	124	123	123	125	131	133	136	136	136	136
	測定局数	173	170	178	178	180	178	181	177	177	178	185	186	189	191	188	186

局区分	項目	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般局	市町村数	220	225	232	237	241	238	237	236	238	239	241	246	250	250	253
	測定局数	318	321	325	326	330	332	334	329	331	329	332	337	342	346	348
自排局	市町村数	131	127	120	119	120	117	115	115	113	112	113	110	107	104	103
	測定局数	178	174	166	164	162	157	154	153	150	147	149	142	140	136	134

※環境基準適用除外局は除く。

表8-1-2 都道府県別の測定局設置市町村数及び測定局数

都道府県	一般局		自排局	
	総 数		総 数	
	市町村数	測定局数	市町村数	測定局数
北海道	4	8	0	0
青森県	2	2	3	4
岩手県	1	1	0	0
宮城県	5	6	1	1
秋田県	2	3	0	0
山形県	0	0	1	1
福島県	10	10	3	3
茨城県	16	17	0	0
栃木県	10	11	0	0
群馬県	3	3	6	6
埼玉県	17	22	12	12
千葉県	27	46	7	12
東京都	23	27	5	5
神奈川県	15	30	2	5
新潟県	2	4	1	1
富山県	5	6	2	2
石川県	5	5	1	1
福井県	6	6	3	3
山梨県	3	3	0	0
長野県	2	2	0	0
岐阜県	2	2	0	0
静岡県	9	14	6	9
愛知県	9	12	7	7
三重県	9	14	2	2
滋賀県	4	4	2	2
京都府	5	6	1	2
大阪府	10	17	11	12
兵庫県	5	11	4	10
奈良県	1	1	0	0
和歌山县	1	1	0	0
鳥取県	0	0	0	0
島根県	1	1	0	0
岡山県	2	4	7	9
広島県	4	5	2	5
山口県	9	11	1	1
徳島県	0	0	1	1
香川県	1	1	1	1
愛媛県	4	6	1	1
高知県	0	0	0	0
福岡県	4	7	2	3
佐賀県	1	1	0	0
長崎県	4	4	2	4
熊本県	1	2	0	0
大分県	1	4	1	2
宮崎県	2	2	3	5
鹿児島県	6	6	2	2
沖縄県	0	0	0	0
全国	253	348	103	134

※環境基準適用除外局は除く。

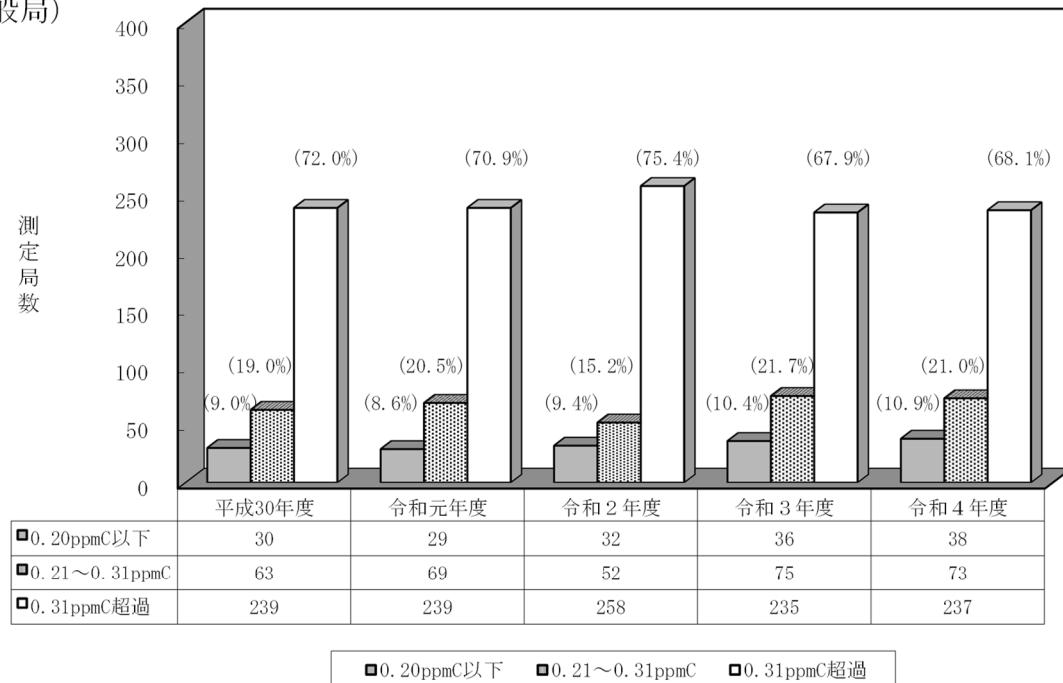
2 非メタン炭化水素濃度の測定結果

(1) 大気中炭化水素濃度指針の適合状況

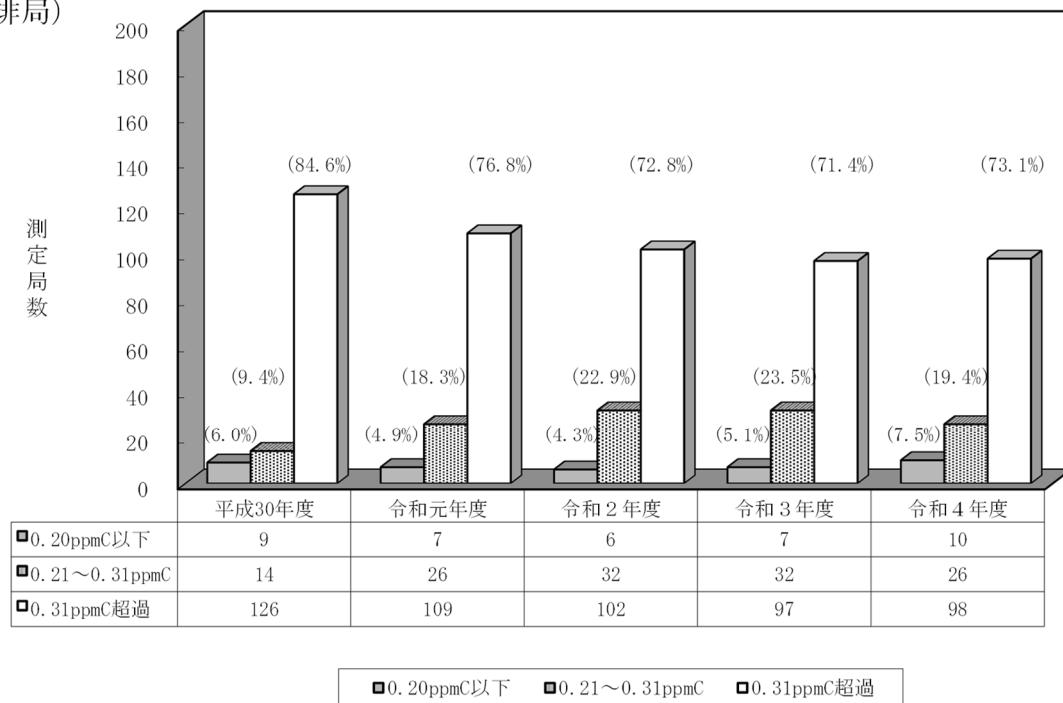
令和4年度においては、非メタン炭化水素濃度の午前6時～9時までの3時間平均値の年間最高値が0.31ppmCを超過した測定局は、一般局で68.1%、自排局で73.1%であり、ほぼ横ばいに推移している（図8-2-1）。

図8-2-1 午前6時～9時における3時間平均値の年間最高値の濃度範囲別測定局数の推移

（一般局）



（自排局）



(2) 午前6時～9時における年平均値

令和4年度の非メタン炭化水素の午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の経年変化は、一般局で0.11ppmC、自排局で0.12ppmCであり、近年、一般局、自排局ともに緩やかな低下傾向がみられる。

図8-2-2 午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の経年変化



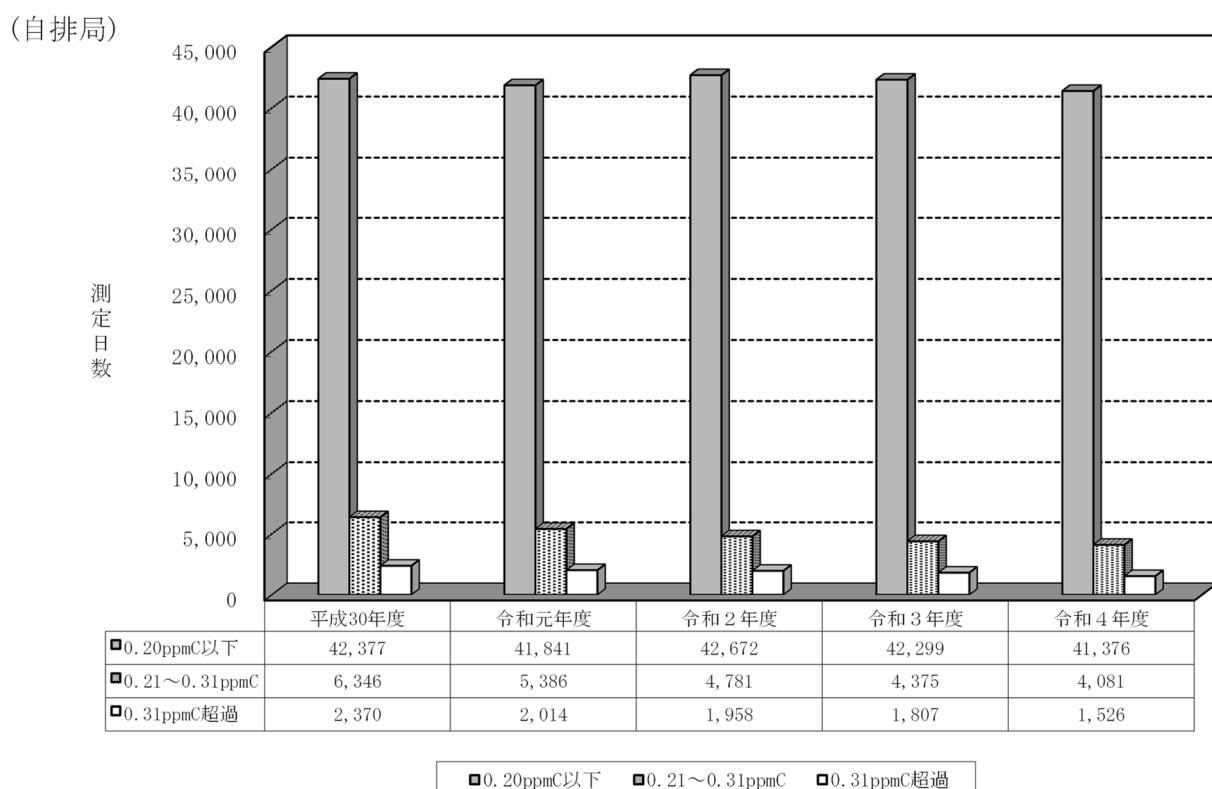
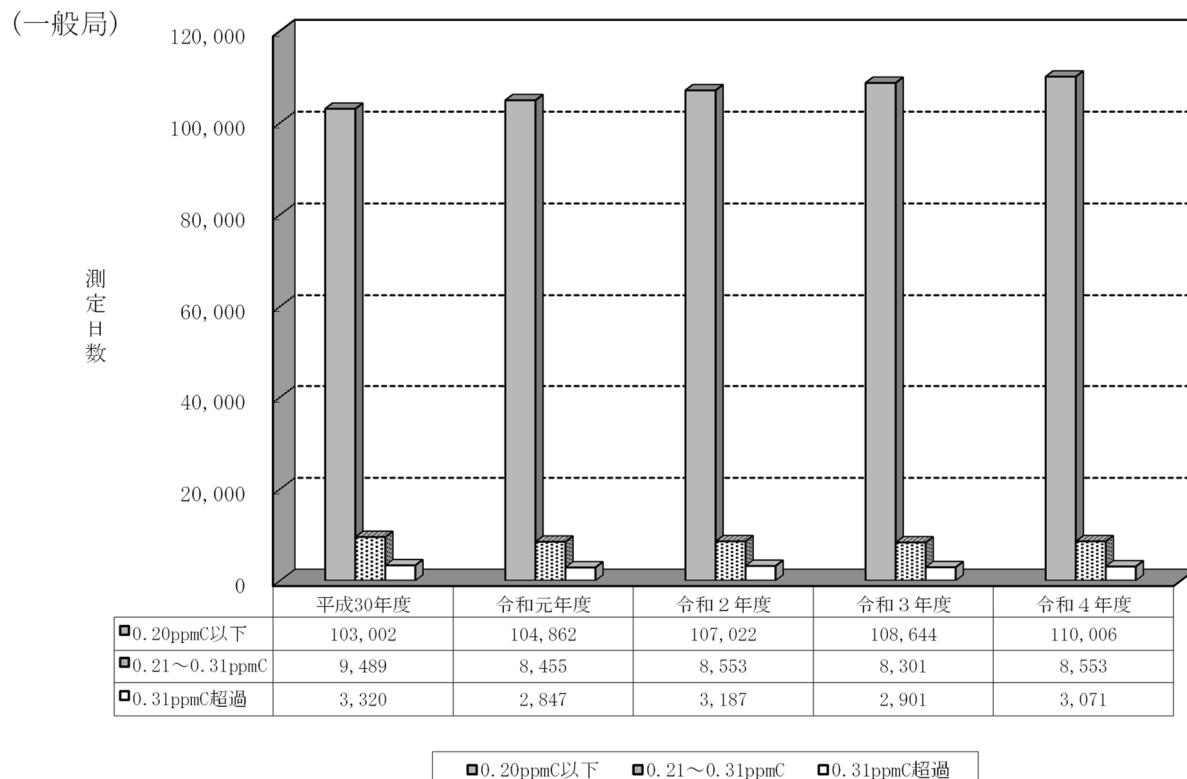
年度	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3
一般局	0.45	0.50	0.51	0.43	0.42	0.40	0.38	0.36	0.35	0.35	0.34	0.35	0.34	0.33	0.32	0.32
自排局	0.93	0.87	0.90	0.79	0.77	0.72	0.66	0.62	0.60	0.57	0.56	0.57	0.57	0.53	0.54	0.52
年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
一般局	0.29	0.27	0.27	0.26	0.27	0.26	0.26	0.24	0.24	0.23	0.22	0.22	0.21	0.21	0.20	0.19
自排局	0.47	0.42	0.42	0.40	0.40	0.38	0.37	0.35	0.35	0.34	0.31	0.31	0.29	0.28	0.27	0.25
年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
一般局	0.18	0.17	0.16	0.16	0.14	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
自排局	0.23	0.22	0.21	0.19	0.18	0.18	0.17	0.16	0.15	0.15	0.14	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12

(3) 非メタン炭化水素濃度の状況

ア 午前6時～9時における3時間平均値の濃度範囲別の総合計測定日数

過去5年間の午前6時～9時における3時間平均値の濃度範囲別総合計測定日数は、図8-2-3のとおりである。

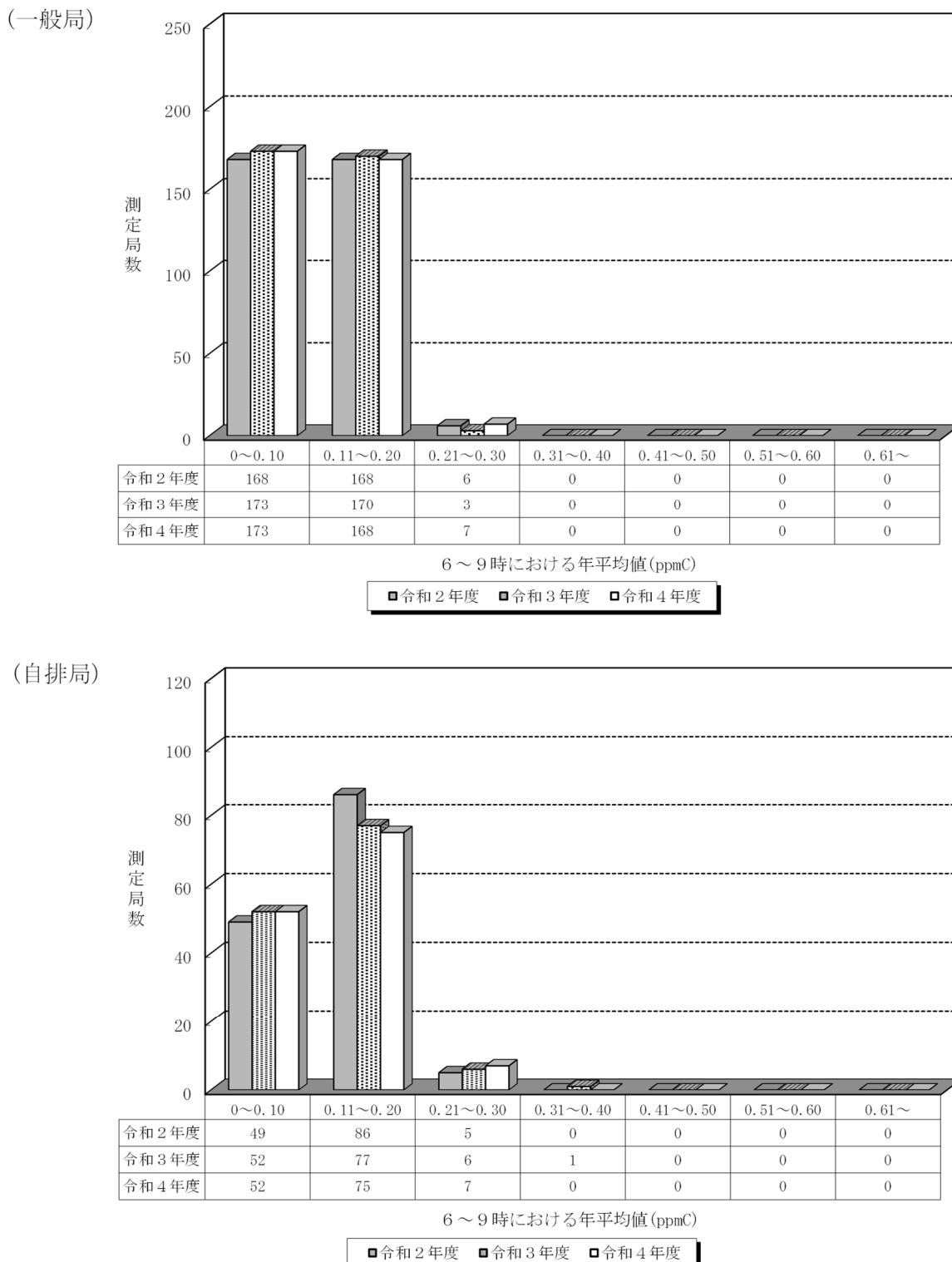
図8-2-3 午前6時～9時における3時間平均値の濃度範囲別の総合計測定日数



イ 午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の濃度範囲別測定局数

過去3年間の午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の濃度範囲別測定局数は、図8-2-4のとおりである。

図8-2-4 午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の濃度範囲別測定局数



ウ 非メタン炭化水素濃度の上位測定局

令和4年度の午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の上位測定局は、表8-2-1のとおりである。

**表8-2-1 午前6時～9時における3時間平均値の年平均値の上位測定局
(一般局)**

都道府県	市区町村	測 定 局	6～9時における年平均値(ppmC)
大阪府	堺市北区	金岡南	0.28
三重県	四日市市	磯津	0.26
神奈川県	秦野市	秦野市役所	0.23
大阪府	東大阪市	東大阪市西保健セ	0.23
千葉県	松戸市	松戸根本	0.22
千葉県	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷軽井沢	0.21
三重県	四日市市	楠	0.21
埼玉県	草加市	草加市西町	0.20
大阪府	大阪市平野区	摂陽中学校	0.20
大阪府	枚方市	枚方市役所	0.20
岡山県	岡山市北区	御津	0.20

(自排局)

都道府県	市区町村	測 定 局	6～9時における年平均値(ppmC)
三重県	四日市市	納屋	0.28
東京都	千代田区	国設霞が関	0.25
大阪府	大阪市西淀川区	出来島小学校	0.24
大阪府	東大阪市	東大阪市環境衛生	0.24
神奈川県	横浜市旭区	旭区都岡小学校	0.21
大阪府	守口市	淀川工科高校	0.21
大阪府	八尾市	太子堂	0.21
京都府	京都市南区	自排南	0.19
岡山県	岡山市南区	青江	0.19
神奈川県	横浜市西区	西区浅間下交差点	0.18
福岡県	福岡市中央区	天神	0.18